

西国巡礼慈悲の道

西国第二十四番

紫雲山

中山寺

「覚醒」

山主 村主康瑞

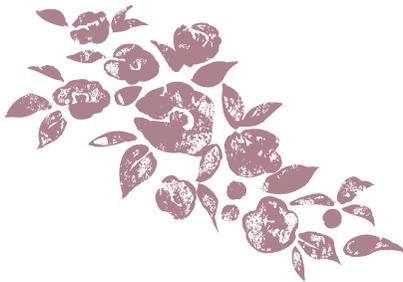
観音とは音を観ることが出来る菩薩と言われます。

音は聞くものでありますが、その本質を観ずることが出来るのであります。私たちの名もなき小さな願いや思いを菩薩は観ぜられ、聞き入れて下さるのであります。ですから、それに世を加えて観世音、世の人々のあまねく願いを聞き入れるものとも言われるわけがあります。

うことをご自身の修行とされ、一人でも多くの人々の苦悩を除くことに力をそがれ、そのことが菩薩の行であると覺られております。そして、時折り、私たちの前に姿を現しになり人々の心を浄化なされます。巡礼開白以来、初めての西国三十三所総開帳は色々な所で多くの成果をもたらしました。多くの方々が、信仰に新たな覚醒を起こし、現代における巡礼のなんたる

かを身をもって体験されたようです。又、巡礼者の姿はその地域に色々な影響を与え、観世音に対する真摯な姿に心の浄化や感動を与えられたと思います。交通事故や犯罪が減少した報告も私どもの地域では聞かれました。これはもちろん警察の努力もあるのですが、何より地域の人々が何かに目覚め始めたことによると観ぜられます。一人一人が自分の願いとして世の音を観ることを知ったのかもしれないません。

それを否定し続けた結果、暗雲の広がりやすい日本を作ったことを覚えなくてはなりません。



西国第二十四番

紫雲山

なかやまであら
中山寺

真言宗中山寺派大本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／聖徳太子

のをもすぎ さとをもゆきて なかやまの

てらへまいるは のちのよのため

観音風光

中山寺の観音様は、「女人救済の観音様」として、古くから信仰されています。特に「安産祈願」のお寺として知られ、妊婦やその家族で日々賑わっています。明治天皇勅願所として皇室とのご縁も深く、皇后陛下、皇太子妃殿下御懐妊の折には、必ず御腹帯を献上しています。

主な年中行事

一月一日～三日 大般若転読修正会
 二月三日 星祭節分会
 二月十六日 えんま天供
 三月第一日曜日 梅まつり
 四月第一日曜日 無縁経大会式
 五月五日 子どもまつり
 六月十五日 青葉まつり
 八月九日 星下り大会式
 旧暦十月亥の日 亥の子地藏まつり
 十一月中 七五三まいり

〒665-8588 兵庫県宝塚市中山寺2丁目11-1

TEL 0797-87-0024 <http://www.nakayamadera.or.jp>

納経時間 午前9時～午後5時

仏教用語一口解説

不慳貧とは

「欲深い貪りの心を持つてはならない。」という意味。お金はもちろん、品物や食べ物など自己の満足だけを求め、他人のものまで欲しがる欲深い人は居るものです。貪りの心は更なる物欲を生み、その繰り返しで決して満足を得ることが出来ません。物への執着は人との心のつながりをも希薄にさせてしまいます。「足るを知る」ことが大切です。これで十分と思えるとき、初めて満足を知ることが出来るのです。